

千葉県鉱工業指数の基準改定の概要

平成20年12月

1. 改定の趣旨

千葉県鉱工業指数については、「指数の基準時は、原則として5年毎に更新することとし、西暦年の末尾が0または5の付く年とする」(昭和56年3月20日統計審議会答申)とされていることから、5年毎に基準改定を行っている。

このたび、平成17年(2005年)を新たな基準年次とするとともに、産業構造の変化等に対応するため、業種分類を一部変更し、採用品目の見直し等を行った。

2. 改定の主な内容

(1) 基準及び品目ウェイトの算定年次変更

指数の基準及び品目ウェイトの算定年次を現行の平成12年から平成17年に変更した。これによって指数値は、平成12年の平均値を100.0とした比率から、平成17年の平均値を100.0とした比率で表されるものに変更される。

(2) 業種分類の一部変更 (資料1)

平成17年基準指数の業種分類は、原則として平成12年基準を踏襲したが、採用品目の改廃状況に応じて業種の内訳分類の一部を変更した。また、これまでのデータが確保できず非採用だった「印刷業」については、「その他工業」の内訳業種として新たに採用し、参考系列として掲載していた「電気機械工業(旧分類)」については除外した。

(3) 採用品目の見直し (資料2)

「経済産業省生産動態統計調査」と「千葉県工業生産動態統計調査」における調査対象品目について、業種内の代表性等に関し総合的に検討を行った。

指数の種類	平成12年 基準	平成17年 基準	差	新規	非採用	統合	分割
生産・出荷	275	280	5	40	-35	-3	3
在庫	202	201	-1	26	-25	-3	1

(4) ウェイト

算定の基礎資料として、製造工業については「平成17年工業統計調査」、鉱業については「平成17年本邦鉱業の趨勢」を指数の業種分類に適合するよう調整した上で利用した。

指数	ウェイト増加業種	ウェイト減少業種
生産指数	鉄鋼業	情報通信機械工業
	食料品工業	電子部品・デバイス工業
	化学工業	石油・石炭製品工業
出荷指数	石油・石炭製品工業	情報通信機械工業
	化学工業	電気機械工業
	鉄鋼業	その他工業
在庫指数	化学工業	電気機械工業
	石油・石炭製品工業	電子部品・デバイス工業
	鉄鋼業	一般機械工業

(5)在庫の年平均・四半期値

平成12年基準では、在庫について、暦年指数値と四半期指数値について平均していたが、在庫については月末値を取り扱っていることから、平成17年基準では暦年指数値は年末の指数値、四半期値については期末の指数値に変更した。

3. 季節調整法

季節調整法は平成12年基準を踏襲し、生産指数・出荷指数については、米国商務省センサス局の「X-12-ARIMA」、在庫・在庫率については、「X-11-デフォルト」を用いて季節調整を行った。

4. 新基準の公表及び接続指数

平成17年基準による指数値は、平成20年10月分から公表し、平成15年1月分まで遡って作成した。また、それ以前の指数は、過去の基準指数にリンク係数を乗じることで便宜的に接続が可能である。

$$\text{リンク係数} = \frac{\text{平成17年基準指数の平成15年1月～3月の平均季節調整済指数}}{\text{平成12年基準指数の平成15年1月～3月の平均季節調整済指数}}$$

採用品目変更一覧表

業種名	品目名		
	非採用品目	新規採用品目	名称変更・業種移動・分割・統合
鉄鋼業	普通鋼冷延電気鋼帯 鋳鋼品		H形鋼 大中小形形鋼 } 形鋼 特殊鋼冷間仕上鋼材 } 特殊鋼冷間仕上鋼帯・鋼板 特殊鋼PC鋼線 } 特殊鋼ステンレス鋼線 } 特殊鋼冷間仕上磨棒鋼・線類 その他の特殊鋼線 } 鋳鉄管(金属製品工業から移動)
非鉄金属工業		アルミニウム粉	電線・ケーブル用光ファイバ製品 通信用ケーブル光ファイバ製品
金属製品工業	鋼管 スチール製物置 アルミニウムドア 18リットル缶	アルミニウムエクステリア ねじり棒ばね	その他のアルミニウム製建具 アルミニウム製室内建具 粉末や金機械材料 粉末や金製機械材料 軽金属板製品 → 飲料用アルミニウム缶 → 産業用アルミニウム製品 鋳鉄管(鉄鋼業へ移動)
一般機械工業	基礎工用機械 紙工機械 研削盤 マシニングセンタ 鍛造機械 特殊鋼切削工具 C(W)BN工具 給水栓 容器弁(ポンペ用に限る)	一般用蒸気タービン アスファルト舗装機械 破碎機 圧縮機 超硬カッタ 超硬エンドミル 歯車	固定比変速機 固定比減速機 包装荷造機械 包装機械及び荷造機械
電気機械工業	電気ブロワ 電子レンジ 電子がま(ジャー付を含む) 蛍光灯器具 ビデオテープレコーダ	開閉機器 電気計器 工業用計測制御機器	DVD-ビデオ(情報通信機械工業へ移動)
情報通信機械工業	電子交換機	ホームオーディオ	DVD-ビデオ(電気機械工業から移動)
電子部品・デバイス工業	パッシブ型液晶素子	アクティブ型液晶素子(中・小型)	
輸送機械工業	乗用車エアコン用		シャシ及び車体部品 シャシ-車体部品
精密機械工業	カメラの部分品	医療用品	
窯業・土石製品工業		安全ガラス	構造用セメント セメント ファインセラミックス構造材 ファインセラミックス(一般構造材) 不定形耐火物 不定形耐火物
化学工業	液体塩素 炭酸カリウム 酸化第二鉄 アニリン 漂白剤酸素系	硫酸 フルオロカーボン ナフタリン 純トルエン キシレン ビスフェノールA 無水フタル酸 アセトアルデヒド 酢酸エチル 合成高級アルコール プロピレングリコール ポリプロピレングリコール ウレタンフォーム 石油樹脂 脂肪酸	塩化ビニル樹脂ポリマー 塩化ビニル樹脂
石油・石炭製品工業	その他の石油製品	精製及び混合原油	C重油 B・C重油
プラスチック製品工業		プラスチック製板	プラスチック製フィルムシート プラスチック製フィルム・シート プラスチック機械器具部品 プラスチック製機械器具部品 日用品・雑貨プラスチック製品 プラスチック製日用品・雑貨 プラスチック容器 プラスチック製容器
パルプ・紙・紙加工品工業	衛生用紙		印刷用紙(非塗工類) 印刷用紙(非塗工)
繊維工業			ニット製品 → ニット製外衣 → ニット製靴下 織物製品 織物製外衣 乾式不織布 不織布
食品工業	うま味調味料		日本酒 清酒 蒸留酒・混成酒 → 蒸留酒 → 混成酒
その他工業			
ゴム製品工業		運動競技用ゴム製品	
皮革製品工業			変更なし
家具工業	その他の金属製家具	システムキッチン	金属製保管庫類 金属製棚・保管庫類
印刷業		とっ版印刷(活版印刷) 平版印刷(オフセット印刷) おう版印刷(グラビア印刷)	
木材・木製品工業			変更なし
その他製品工業	電子応用玩具 その他の玩具	バスユニット	
鋳業			変更なし

季節指数の利用上の注意

1. スペックファイル

使用しているスペックファイルの見本は以下の通り、なお、レベルシフト、異常値処理などの該当はない。

```
series{start=2001.jan
span=(2001.1,2007.12)
  decimals=1
  print=none}
transform{function=log}
arima{model=(0 1 1)(0 1 1)}
regression{variables=tdlcoef
  save=(td hol)
  user=(jap-hol)
  usertype=holiday
  start=2001.1
file="xxxxxxxxxxxxxxxx" }
forecast{maxlead=0}
estimate{save=(mdl)
  maxiter=500}
x11{print=(none+d10)
  save=(d10 d11 d16)
Seasonalma=x11default}
```

2. 季節指数等の運用

平成20年1月以降の季節指数は、暫定季節調整方法を採用している。具体的には、平成19年の季節指数を適用している。

これに対し、日曜・祝祭日指数は、暫定方法をとらず、上記スペックファイルで推計されたパラメータとカレンダーから計算して利用している。